

ソーラー発電の最先端をリード!

設置例

Photoelectric project





エコマックス ジャパン

## 大同鶴山精製石炭グループ社の太陽光照明





密雲県巨各荘鎮水嶺村



軍事物流部基地の太陽光照明



光電総局542所の太陽光庭園照明



紅五月農場の太陽光照明



石樓鎮の太陽光街路灯



房山区賢店镇の太陽光照明



延安市安寒県の太陽光照明



房山区大石窩鎮南崗樂村



密雲県河南寨鎮團結村



南法信鎮人民政府の太陽光照明



香河の太陽光庭園照明



密雲県石蛾村の太陽光殺虫灯



房山区南窯郷の太陽光照明



昌平区渡上別荘の太陽光芝生照明



エコマックス ジャパン



燕山石化の太陽光照明



密雲県新農村の太陽光照明



黒龍江省宝清の太陽光照明



房山区エネルギーサービスステーション  
の太陽光照明



房山区七里荘の太陽光街路灯



燕山石化の太陽光庭園照明



保定市の太陽光信号機



大興区新農村建設の太陽光照明



房山区閻村中學校の太陽光照明(二期)



房山区教育委員会の太陽光照明



房山区間村中学校の太陽光照明



良郷中学校の太陽光照明





崇文区の太陽光小型発電所



852農場の太陽光照明



北京市のモール街



大興区礼賢鎮新農村の太陽光照明



北京市郊外の街路灯

## ソーラー照明器具と一般照明器具の比較

長さ5km幅20mの道路に対する街路灯設置工事を例に説明します。間隔40mで道路両側に対称配置すると、計250灯が必要です。一般の街路灯の価格は275,000円/1セットで、付帯工事の費用として360,000円/1セットが必要です。ソーラー街路灯(高さ8m、60wLED)の価格は700,000円/1セットで、付帯工事費用は必要ありません。使用期間を15年間とし、以下にその比較をまとめます。

比較項目	ソーラー照明器具	一般照明器具
価格	700,000円 × 250灯 = 175,000,000円	275,000円 × 250灯 = 68,750,000円
本体取付工事の費用	150,000円 × 250灯 = 37,500,000円	44,000円 × 250灯 = 11,000,000円
付帯(地中化)工事の費用	なし	360,000円 × 250灯 = 90,000,000円
ランニングコスト および メンテナンス費用	バッテリー交換 55,000円 × 2回 × 250灯 = 27,500,000円	・ランニングコスト 1日の電力消費量を4.8kw、1kwの電気代を30円として、15年間で、 4.8kw × 250灯 × 365日 × 15年 × 30円 = 197,100,000円 1ヶ月の基本料金を46,500円として、15年間で、 12ヶ月 × 15年 × 46,500円 = 8,370,000円 ・メンテナンス費用 ランプ代：3,300円 × 5回 × 250灯 = 4,125,000円 交換費用：10,000円 × 5回 × 250灯 = 12,500,000円 合計：222,095,000円
合計費用	240,000,000円	391,845,000円

※仕様および価格については予告なく変更する場合があります。

### 注:

- 製品本体の初期投資については、ソーラー照明器具は一般照明器具より高くなります。
- 使用期間を15年間とした場合のランニングコストやメンテナンス費用を考えると、ソーラー照明器具の合計費用は一般照明器具より安くなります。また、工事規模が大きければ一般照明器具の工事費用が高くなります。電力供給量の増設や、変圧器の取り付け、光源の消耗、ケーブル、遠隔パワー損失、および器具の制御システムや工賃などの費用も考えると、実際の費用はこの表以上にかかることになります。
- ランニングコスト：一般照明器具はソーラー照明器具より遥かに高くなります。使用時間が長くなるほどコストが高くなります(電気代、労務費等)。
- 安全と安定性：ソーラー照明器具はメンテナンスが不要であり、安全で漏電事故発生の心配もありません。また、制御方式の変更によって安定性がより高くなります。一般照明器具の場合は、比較的安全であり、性能は安定していますが、常時メンテナンスが必要です。水害や雨天では漏電事故が多く、停電や電気使用制限時には正常に動かすことができません。

以上のように、ソーラー照明器具は、コストパフォーマンスの高い製品です。また、器具そのものはグリーン製品で、環境にやさしく、再生可能なエネルギーを使用しています。1度購入すれば、長期間使用できます。また、将来起こりうるCO<sub>2</sub>取引においても、ソーラー照明はCO<sub>2</sub>排出量ゼロのため、非常に有利な条件となります。

製造・販売元

株式会社 エコマックス ジャパン

〒089-1247 北海道帯広市昭和町東5線113番地

TEL 0155-64-5826 ・ FAX 0155-64-5736

<http://www.hokkaido-eco.com> ・ E-mail : [info@hokkaido-eco.com](mailto:info@hokkaido-eco.com)